

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	3390100877		
法人名	社会福祉法人 生き生き館		
事業所名	グループホーム ケアポート生き生き館原尾島		
所在地	岡山市北区東川原361-1		
自己評価作成日	平成23年3月18日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利法人 高齢者・障害者生活支援センター		
所在地	岡山市北区松尾209-1		
訪問調査日	平成23年3月28日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

「入浴」「食事」「リハビリ」を生活支援の柱として、高齢者のケアを行っています。地域の特色を生かして、より密着したサービスを行っています
---

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

グループホーム・小規模多機能施設・ショートステイ・特別養護老人ホームがひとつの建物中にあり多様化する利用者ニーズに対応できるサービス提供が実践されています。理念に掲げである「心の通うひとづくり」を実践すべく、法人全体で人づくりに取り組まれ介護職員のレベル向上に取り組まれています。岡山の中心部に程近くにあり、市民の憩いの場である河川敷公園・遊歩道などが隣接し、おだやかな時間がすごせる環境にあります。
--

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当法人では、「心の通うひとづくり」を理念に掲げ、毎日朝礼後、職員で読み、日々理念を意識させた実践を行っています。	「心の通うひとづくり」という理念を施設長・管理者・スタッフが共有し、日々の業務の中で活かせる理念の共有に努めておられました。	開設して1年とまだまだ慣れない部分が多いと思いますが、運営の基本である、理念を大切にしたい支援を期待いたします。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	当事業所の隣には小学校があり、行事に開催時に、声かけをさせていただいて、異世代交流の場をつくっています。	近くに教育文化施設もあり、また市民の憩いの場である遊歩道・河川敷公園が隣接する環境にあり今後この環境を活かした地域交流を検討されていました。	施設全体での交流と共に施設自体の特性を活かした地域とのつながりに期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	当施設は、地元の小学校に隣接しており、行事などへの参加の声かけをさせていただくなど、地域との交流へ積極的に働いています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的な会議を行い、情報交換しています。	2ヵ月に1回地域の方や家族のかたの参加で開催し、そこでの意見をサービスの向上に活かすよう努めている。	これからも運営推進会議での意見を運営に活かしていただきたい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	問題点などを報告をし、その都度助言を頂いています。	市町村との情報交流は日常的にされていました。ホームだけで解決できない内容の課題がある場合は市に相談されていました。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月1回「身体拘束委員会」の実施し、事例検討を通して、身体拘束の廃止に努めております。	身体拘束をしないケアに事業所全体で取り組んでいました。職員教育も十分なされていました。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	内部・外部研修を通じて虐待に関する知識を身につけるとともに、法人内で「虐待防止委員」を設置し、防止に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修的にはないが、管理者において常にチェックしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、管理者・計画作成担当者が同席をさせていただき、重要事項説明書等の説明させていただきます。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置し、ご家族への意見等を受け入れています。その際、必要であればカンファレンスなどを行い、その意見を有効に反映させています。	家族からのご意見 要望を頂くために玄関に意見箱を設置されていました。面会の利用者家族が多く、直接ご意見を頂くことが多いようです。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一度の職員会議を実施し、職員・各部署の意見・情報交換をし、サービスの向上に努めている	管理者と職員の上下の関係を意識せず新しい施設を共に作り上げるんだとの思いが感じられました。そのような関係の中から職員から率直な意見が提案され運営に活かされているようです。	これからも理念を大切にされた運営を期待します。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員各々の役割を持たせ、責任感のもとで業務に携わるように努めている。また、職員会議等を通して、よりよい職場環境づくりに努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修等の実施により、職員各々の技術・致死沖の向上に努めております。また、新人職員には、それぞれシスターをつけ、相談等をし、その育成に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内での事業所間交流を行い、全体的にも向上させている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回のアセスメントにおいて、ケアマネジャーと介護職員がさせていただき、利用者希望者本人様とご家族のニーズを把握させていただきように努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初回アセスメントを含め、利用前の見学の受け付けなど職員とご利用者様のお話をする機会をできる限り多くつくり、信頼関係の構築に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初回アセスメントをはじめ、ご利用者様・ご家族の現在のニーズの把握に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	当事業所は、ユニットケア形式を用いており、ご利用者様が主体となり安全に行動できるスペースを確保しております。できることはご自分でしていただけるよう心がけて、日々のADL等の維持・向上に努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	在宅サービスでもあるため、ご利用者様とご家族とのつながりが切れないように、おむつ・パット等の必要物品をご家族に持参していただくようにし、出来る限りご来館の機会をつくっています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者のご家族・友人がよく来館されています	利用者の多くがご近所・近隣で、ご家族も気軽に訪問できる雰囲気作りに努められています。ご家族の協力をお願いしながら関係継続に努力されてきました。	開設して1年の事業であるので、ここでの馴染みの関係作りの途中だと思えます、これからゆっくりと時間をかけ独自のカラーが出るように頑張ってください。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	当事業所は、ユニットケア形式を用いており、食事・レクレーションを含め、できるだけ日中はフロアで過ごしていただくように努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	アフターも相談等のついています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用前のアセスメント、又定期的なカンファレンスを実施し、その都度、ご利用者本人の意向について検討しています。	一人ひとりの生活歴を基に本人の気持ちを大切にケアに心掛けていました。	まだまだ職員もなれない部分が多いと思います、チームケアの大切さを今一度考え、前向きな対応に期待します。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	定期的なカンファレンスの実施を行い、その都度、ご利用者様のニーズ等を把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	きめ細かな記録、朝・夕の申し送りを含めて、ご利用者様の一日の状況を職員全員が把握できるように努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネを中心に職員全員の意見を取り入れ、総合的に計画に反映させている。	ご利用者それぞれの課題を定め介護職員が現場での気づきなどを反映させたアセスメントを基に、現状に即した介護計画作成に努力されてきました。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カンファレンスの実施と、それに伴う記録をし、職員間の情報を共有し、実践につなげています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者・ご家族等の会話などを通じて、日々のニーズの変化に対する把握に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の子供会等と連絡し、楽しいひと時を過ごしていただくように支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医と嘱託医の情報連携を図り、適切な医療を受けられるように支援しています。	基本的には家族対応であるが、緊急時などは事業所対応されていました。必要に応じて看護師、介護職員が付き添っての受診対応がなされていました。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ご利用者様に心身上の変化があった時、看護師に連絡し、指示のもとで対応しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、定期的に医療機関との連携・情報交換・共有を行い、円滑に治療等が行われるように努めております。また、退院決定時にはケアマネジャー等が状況把握に行かせて頂き、退院時の受入れがスムーズにできるように努めております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現段階では、該当者がいませんが、その場合には積極的に取り組みます。	開設1年の新しい施設ですが、看取り 重度化に向け前向きに取り組まれていました。職員教育にも取り入れ質の向上を目指されていました。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	当事業所の看護師からの指示のもと、ご利用者様の主治医への相談・連絡をし、円滑に対応できるように努めております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を実施しております。	定期的に小規模多機能と合同で避難訓練を行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライマリケアの考え方を導入しており、ご利用者個々の人格を尊重しながら、プライバシーの尊重をしたサービスを提供しています。	利用者様の介護度・年齢(若年の方)など個々に合わせた対応に心掛けた配慮が見られました。一人ひとりのプライバシーの確保にも努めていました。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	できる限り、ご利用者様との会話を重ね、その都度変化するニーズを把握するように努めています。また、自己決定をできる環境を整えて、ご利用者様が「選ぶ」ということを大切に実践しています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	プライマリケアの導入に伴い、一人ひとりの生活を大切に、常にニーズの把握とその対応に努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣服については、毎日洗濯し、ご利用者様が望むものをきていただけるように心がけています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事介助が必要な方に対しては、本人様のペースに合わせて介助させて頂いています。食事は、厨房にて出来上がった食材の盛り付けを職員とともにしております。	食事を楽しむことのできる支援がなされていきました。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による栄養管理のもと食事を提供しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	就寝前に、口腔ケアを毎日実施しております。また、ご利用者の個々の義歯の管理もさせて頂いております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定期的なトイレ誘導の実施をし、ご自分のできる方に対し、見守りを行い、適切な排泄介助がなされるように努めております。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、個別の対応ができていました。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の記録を確実にし、便秘予防の為に、運動・電子療法等を実施しています。便秘が長期間にわたる場合は、主治医と連絡をし、適切な指示を頂いております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	個々の入浴時間を大切に、個別にて入浴をさせていただいております	健康状態の確認を取りながら気分を損ねないように努め、安全第一の入浴支援をさせていただきました。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を増やし、夜間に寝ていただけるように心がけています。夜間寝られない方に対しては、主治医と常時相談をさせていただいております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が把握して、取り扱いについて慎重に対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の盛り付け等の生活リハビリを積極的に実施し、ADLの維持・向上とともに、楽しんで生活を営めるように心がけています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人が希望する外出については、基本ご家族対応とさせていただいております。施設内では年間行事のお花見などで外出予定にしているほか、	利用者に季節感を感じてもらうと共に、ストレス発散できるように支援されていました。生きることの喜びを味わってほしいとの思いから外出支援に取り組まれていました。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	原則として金銭のお預かりはしていません。必要時にご家族へ連絡し、購入をさせていただいております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	面会が多く、電話、手紙は行っていません。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ユニット形式を取り入れており、共有フロアにはご利用様がリラックスできる設備・空間を用意しております	落ち着いた家具の配置がされ、視覚的にも柔らかかでぬくもりが感じられる雰囲気が十分演出できている、皆との共同生活が居心地よく過ごせるよう環境作りに努めていました。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペース内には、畳の間があり、ご利用者様のご希望によりご使用いただいたおります。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、ご利用者様が以前より使用されているものを置いていただき、ご自分の家と感じていただけるように努めております。	新築の建物でとてもきれいでした。居室内は一人ひとりの個性が活かされ個々のレベルに合わせた部屋(すみか)作りがなされていました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	「自分でできることは、自分でしていただくこと」<お前提としたケアを実践しています。食事の盛り付け等ご自分でしていただくことを、していただくことを大切に		